



(案)
生田緑地ばら苑のあり方

「東洋一のばら苑」を未来に引き継ぐ



令和6年●月

川崎市

生田緑地ばら苑のあり方 目次

| | | |
|---|----------------------------|----|
| 1 | 概要 | 3 |
| | (1) 生田緑地ばら苑の基礎情報 | 3 |
| | (2) ばら苑の歴史 | 4 |
| | (3) 垂直写真による比較 | 5 |
| | (4) 生田緑地ばら苑のパンフレット | 6 |
| | (5) ばらの保有種 | 7 |
| | (6) 生田緑地ばら苑の入場者数の推移等 | 8 |
| 2 | 上位計画等 | 9 |
| 3 | 生田緑地ばら苑の現状 | 10 |
| | (1) 市民協働 | 10 |
| | (2) 秘密の花園・観光拠点 | 10 |
| | (3) 彩る | 11 |
| | (4) 歴史・文化 | 11 |
| | (5) 回遊性・地域連携 | 12 |
| 4 | 生田緑地ばら苑が直面する課題 | 13 |
| | (1) ばらの感染症 | 13 |
| | (2) 施設の老朽化 | 13 |
| | (3) 魅力づくり | 14 |
| | (4) 協働の取組の持続性の確保 | 15 |
| | (5) アクセス路の確保 | 15 |
| | (6) 生田緑地東地区内の他の事業との調整 | 16 |
| 5 | 生田緑地ばら苑のあり方 | 18 |
| | (1) 「継承すべき・したい資源」 | 18 |
| | ア ばら「歴史を重ねたバラのコレクション」 | 18 |
| | イ 庭園「市民に親しまれ、愛された作庭のコンセプト」 | 19 |
| | ウ 協働「市民に愛されるばら苑」 | 19 |
| | (2) あり方において考慮すべき事項 | 20 |
| | ア バラ | 20 |
| | イ 施設 | 21 |
| | ウ 管理・運営 | 23 |
| | エ その他 | 26 |
| | (3) 新たなばら苑の方向性 | 28 |
| | (4) スケジュール（調整中） | 29 |
| | 参考資料 | 30 |
| | (1) 生田緑地ばら苑基礎資料 | 30 |
| | ア 現況平面図 | 30 |
| | (2) インフラ平面図 | 31 |
| | ア 排水(雨水) | 31 |
| | イ 排水(汚水) | 31 |
| | ウ 給水(市水) | 32 |
| | エ 電気 | 32 |
| | オ 通信 | 33 |

- (3) 参考資料—川崎市が視察したばら苑一覧— 34
- (4) 参考資料—生田緑地ばら苑植栽バラ品種リスト— 35

1 概要

生田緑地ばら苑は、小田急線開業 30 周年を記念し、野球場の跡地に「関東一のばら園「小田急向ヶ丘ばら苑」として 1958 年（昭和 33 年）に開苑した。

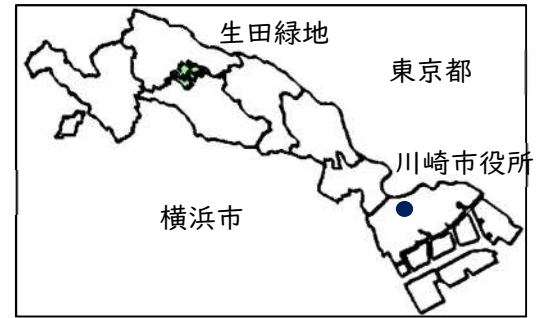
バラについては、当時、「東洋一のバラ園」と言われたひらかたパークの大バラ園（大阪府枚方市）を整備した岡本勘治郎や福羽発生、小沢和雄らが参加し、5,000 坪に各種世界のバラを 10,000 本(H12(2000)年には、1200 品種 20,000 本)を植栽した。現在も、そのコレクションを基とするバラを有し、四季咲大輪種（HT, ハイブリットティー）、四季咲中輪種（FL, フロリバンダ）や、つる性種（CI, クライミングローズ）、四季咲極小輪種（Min, ミニチュア）、ハマナシやサンショウバラなどの原種のバラが植栽されている。また、ロイヤルコーナーには”プリンセスミチコ”、“プリンセスド モナコ”など日本と世界各国の皇室に由来するバラが集められており、現在は、800 品種 3,300 株(秋は 620 品種 2,900 株)を管理している。

施設については、開苑時整備した大パーゴラ、ローズガーデンハウス等が往時のまま現存しているが、水盤やカスケードを要した「水」の要素については、老朽化等のため、市が引き継ぎ後に廃止し、現在は、水盤を芝生広場、カスケードを園路としている。

(1) 生田緑地ばら苑の基礎情報

| | | |
|--------------|--|--|
| 名 称 | 生田緑地ばら苑（旧小田急向ヶ丘ばら苑）及び周辺区域 | |
| 住 所 | 川崎市多摩区長尾 2 丁目 8 番 1 号ほか | |
| 面 積 | ばら苑 12,000 m ² 、ばら苑及び周辺区域 73,856 m ² | |
| 主な施設 | ばら苑（バラの丘、ロイヤルコーナー、見本苑、見本西苑、白垂の彫刻（「白鳥と子供」「母と子」「花の女神フローラ像」）、中央苑路、中央西苑路、東苑路、西苑路、南苑路、パーゴラ、ローズガーデンハウス 160 m ² 、温室、コンテナトイレ（男子・女子）各 1 基）、オールドローズコーナー、臨時（身障者用）駐車場、もみじ谷駐車場、苗圃、管理棟、プレハブ倉庫、樹林地 | |
| 開園期間 | 春 5 月中旬から(R5 は、5/11~5/28) 秋 10 月中旬から(R5 は、10/19~11/12) 年間 45 日 |  |
| 開苑時間 | 平日 午前 10 時~午後 4 時 30 分(秋は午後 4 時)まで 土日祝 午前 9 時~午後 4 時 30 分(秋は午後 4 時)まで ※いずれも最終入苑は閉演時間の 30 分前まで | |
| 入 園 料 | 無料（ばら苑募金への協力を依頼） | |
| 入苑者数等 | R5 68,824 人 41,155 人(春)、27,669(秋)人 5,852 台 | |
| ばらの種類 | 800 品種 3,300 株(秋は 620 種 2,900 株) | |
| 駐 車 場 | 60 台（1 回 500 円） 階段の混雑回避のため、もみじ谷(100 台)は不使用 | |
| 管 理 者 | 川崎市（受託者 公益社団法人 川崎市公園緑地協会） 管理委託費〇円 | |
| 市民 ボランティア | 登録人数：約 169 人、作業人数：15~30 人/日 | |
| | 活動日 | 月曜日を除く、平日及び土・日曜日のうち、月 1 2 回前後 |
| | 主な 作業 | <ul style="list-style-type: none"> ・バラの育成管理（除草、芽かき、凋花切り、牛糞撒き、中耕、施肥、側蕾取り、剪定等） ・ばら苑及び周辺の維持管理(除草、芝生管理、樹木管理、清掃等) ・開苑期間中の業務（来苑者の受付及び来苑者数の把握、募金の受付、苑内のガイド等） |

案内図等



アクセス

電車・バス ●小田急線「向ヶ丘遊園駅」〔徒歩〕南口から徒歩約20分〔バス〕南口からバス約5分で「藤子・F・不二雄ミュージアム」バス停下車、ばら苑正面ゲートを経て坂道登る。〔溝06〕溝口駅／第三京浜入口／井田営業所行〔向01〕梶が谷駅行、〔向02〕二子玉川駅行 ●JR南武線「宿河原駅」〔徒歩〕約23分（期間中は案内看板が出ます） ●東急田園都市線「梶が谷駅」〔バス〕〔向01〕向ヶ丘遊園駅南口行で約20分、「藤子・F・不二雄ミュージアム」バス停下車、ばら苑正面ゲートを経て坂道登る。

(2) ばら苑の歴史

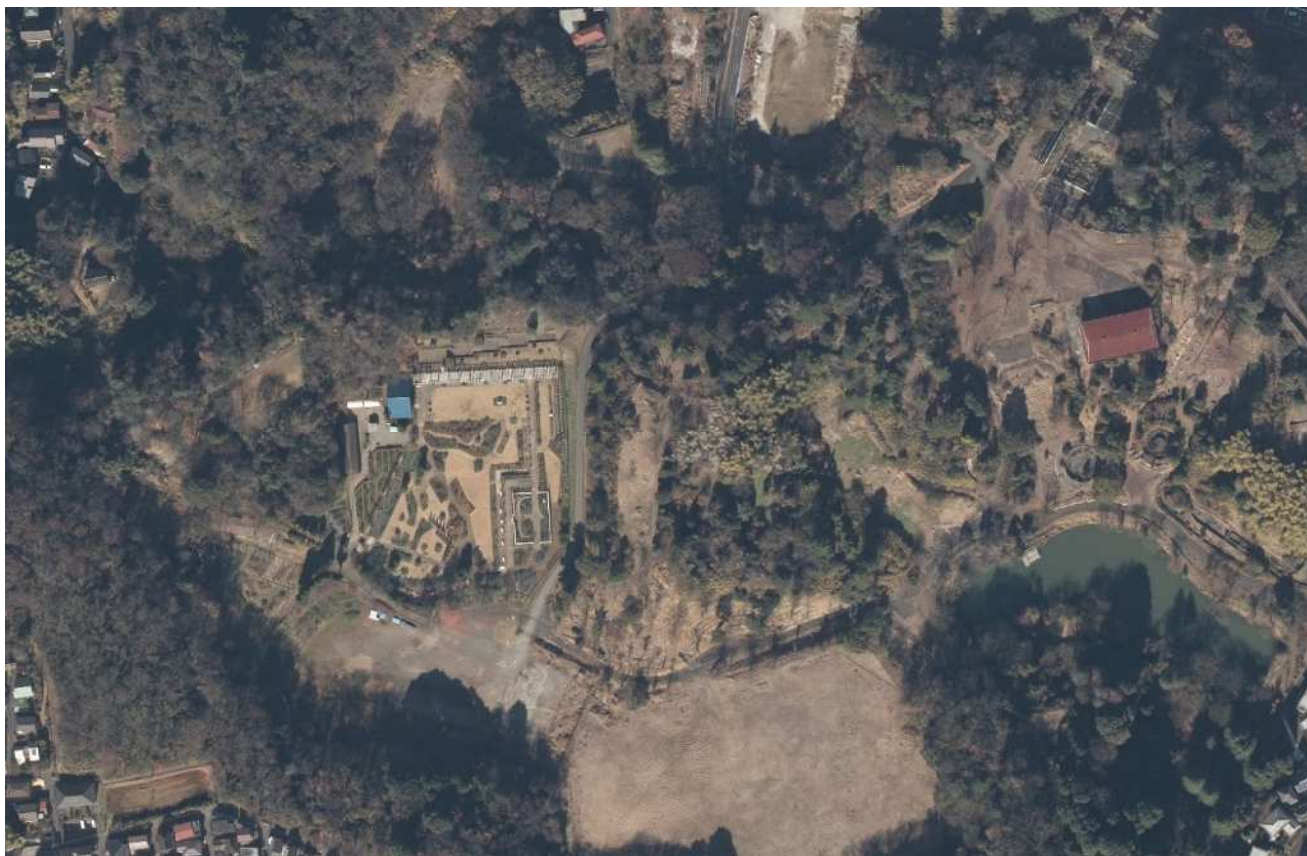
| 年 | 内容 |
|---------------------|---|
| 昭和 2(1927)年 4月 1日 | 小田急線の開業と同時に向ヶ丘遊園が開園 |
| 昭和 32(1957)年 | 小田急線開業30周年事業としてばら苑建設を計画 ばら苑整備にむけて準備委員会メンバー (設計 東京大学農学部園芸学教授 横山光雄 ばらの栽培・育成 福羽発生、岡本勘治郎、小沢和雄など) |
| 昭和 33(1958)年 5月 23日 | 小田急電鉄株式会社が、「関東一のばら園「小田急向ヶ丘ばら苑」 を整備・開園。 |
| 5月 27日 | 秩父宮妃殿下が来園 |
| 昭和 34(1959)年 | 開園1周年を記念して高松宮妃殿下が来園 |
| 昭和 52(1977)年 | ロイヤルコーナーに「花の女神フローラ像」を設置。フラワーショー15周年記念 |
| 平成 14(2002)年 3月 | 向ヶ丘遊園閉園 |
| 平成 14(2002)年～ | 市民の声に応える形で市がばら苑を小田急電鉄株式会社から引き継ぎ、生田緑地ばら苑として、春と秋の年2回開苑(春533(秋440)品種 春4,700(秋4,400)株)。市民ボランティアが除草作業を手伝う。 |
| 平成 19(2007)年～ | 日本ばら会の指導を受け、ボランティアもバラの栽培管理に参加 |
| 平成 30(2018)年 | 日本ばら会に支援を受け、現在の春800(秋620)品種春3,300(秋2,900)株数を確認 |
| 令和 2(2020)年 | 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、春の一般開放中止 |

(3) 垂直写真による比較

ア 整備時のばら苑(まちづくり局都市計画課 昭和 36(1961)年度)



イ 現在のばら苑(まちづくり局都市計画課 令和 4(2022)年度)



(5) ばらの保有種

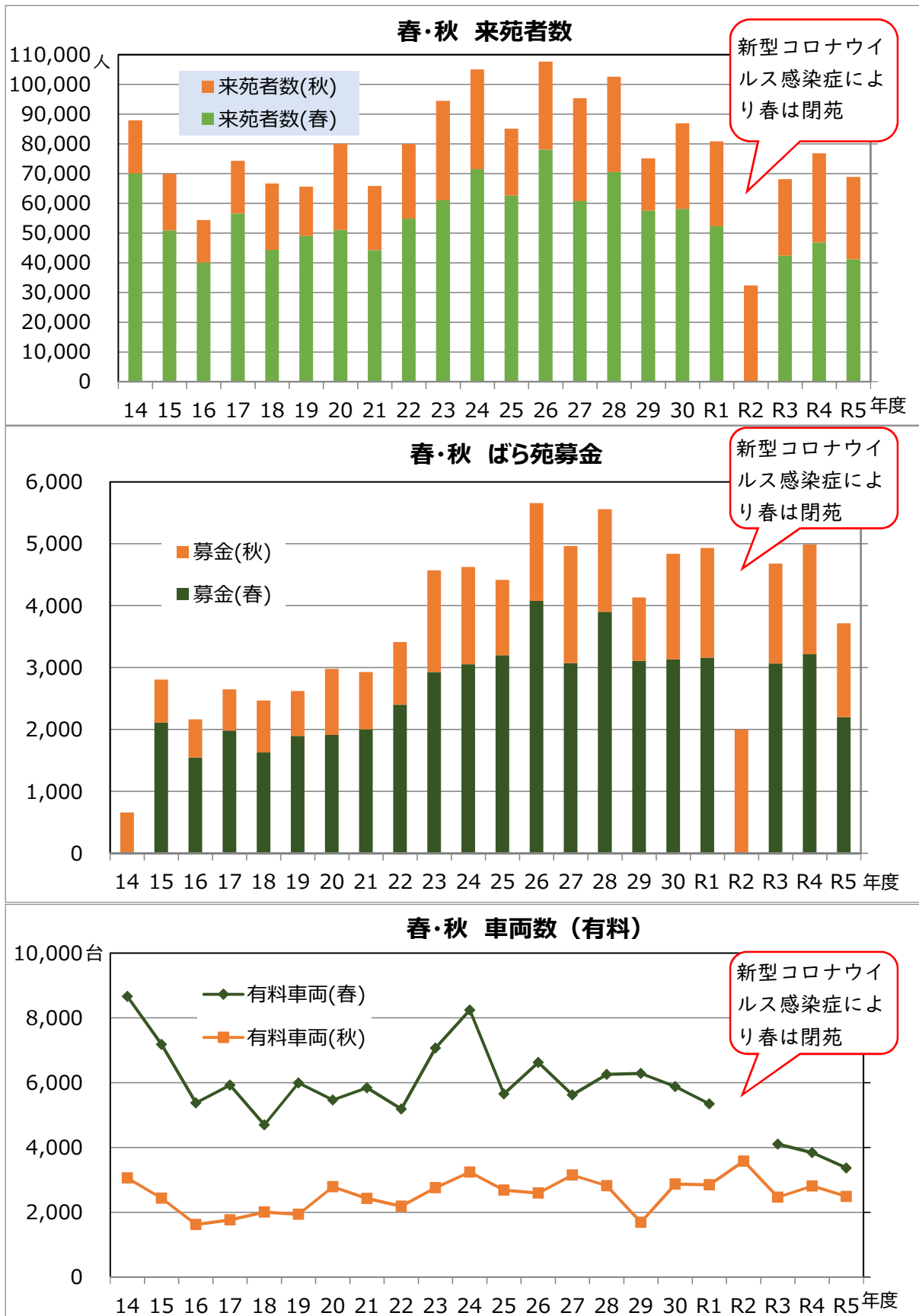
詳細なリストは、参考資料参照

川崎市生田緑地ばら苑 マップ



生田緑地ばら苑ボランティア制作 2009年度夏

(6) 生田緑地ばら苑の入場者数の推移等



2 上位計画等

本あり方については、生田緑地東地区内で別途検討が進む事業等との連携・調整を図り、改定を進めている生田緑地ビジョンに示す将来像の実現を目指す。



3 生田緑地ばら苑の現状

(1) 市民協働

小田急向ヶ丘ばら苑は、向ヶ丘遊園地閉園時に、ばら苑等を愛する市民の声等に応える形で市が引き継いだこともあり、市民ボランティアの協力を得て維持管理運営を行っている。現在のボランティア登録者数は、約170人となっており、永年活動されているボランティアも多い。ボランティアの活動内容は、バラの育成管理、ばら苑及び周辺の維持管理(除草, 芝生管理, 樹木管理, 清掃、開苑期間中の苑内ガイドなど幅広く携わっている。

ボランティア数の推移

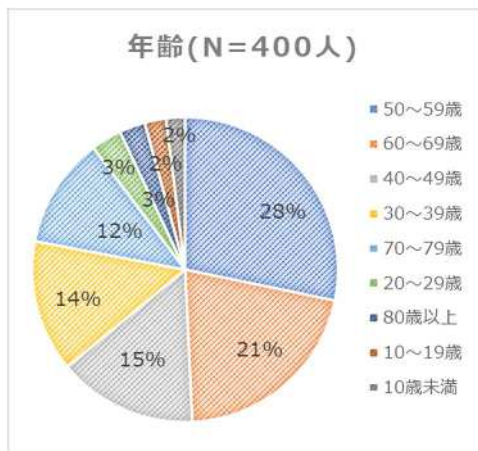
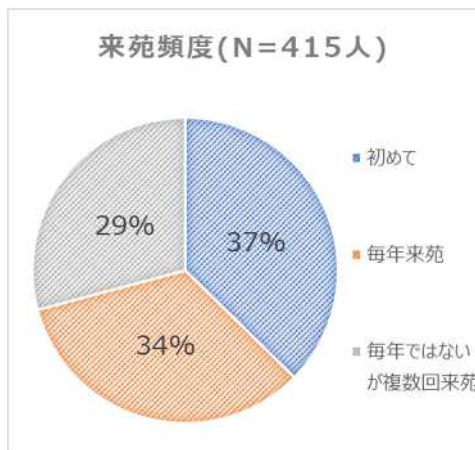
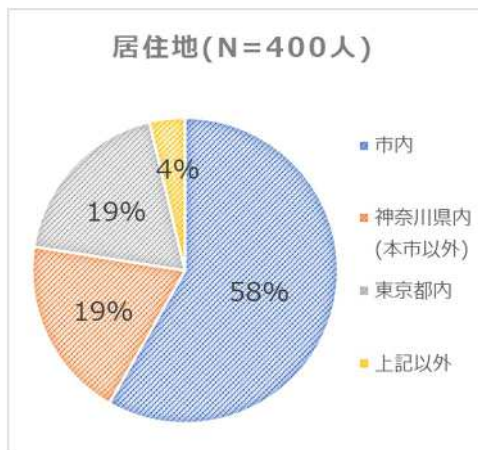
| 年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----|-------|-------|-------|
| 人数 | 183名 | 184名 | 169名 |



(2) 秘密の花園・観光拠点

ばら苑は、市街地から40m上がった丘陵地に位置し、周囲を樹林地に囲われていることから、「天空の秘密の花園」として、年間約6万9千人(R5・42日間)が市内外(来苑者の約4割が市外)から来園しており、リピーターが来苑者の6割を占めている。なお、開園期間中は、テレビ等によりばらの開花状況が全国に発信され、観光地として賑わっている。

令和5年10月来苑者アンケート結果



(3) 彩る

春の開園時には、パーゴラを彩るつるバラ、各国の要人とゆかりのあるバラを集めたロイヤルコーナーなど800種3,300株(秋は、620種2,900株)のばらが咲き誇り、生田緑地のみどりを彩っている。各国の要人とゆかりのあるばらをきっかけに大使の視察等の受け入れも行っている。



【スルタン・カブース】 Sultan Qaboos

ハイブリッドティー1989年 メイアン フランス

国内外の発展と平和をもたらした元オマーン国王の功績を讃え世界バラ連盟によりスルタン・カブースの名が冠せられたもの。

生田緑地ばら苑では、長年スルタン・カブースを植栽

しており、在日オマーン・スルタン国大使館の

方々に、鑑賞に訪れていただいたこともある。

そのようなご縁で、在日オマーン・スルタン国

大使館の庭には、生田緑地ばら苑寄贈のスルタン

・カブースが植栽されている。



(4) 歴史・文化

昭和33年の設計時に意図された、周囲の緑に囲まれた風景と大パーゴラやクラブハウスなどの人工美を加えた「造苑美のばら苑」を継承している。



造苑美のばら苑

地形の変化に富み、遊歩の緑が美しいことはこのばら苑の大きな特色です。特に背景の緑の杉山が遠景を無数の無行きに置いてバラの華やかさと水の清らかさを併せて他に比類のない風景と構図の美を示しています。

これに大パーゴラやクラブハウス、飛石などの人工美を加えて「造苑美のばら苑」という句が多量にびったりとの感を深くします。この設計は東大農学部園芸学教授横山光雄氏の手によるものであります。



(5) 回遊性・地域連携

ばら苑開苑時は、生田緑地中央地区と回遊する利用者が増加し、生田緑地の利用者増につながっている。また、開園時には、地元の学校等と連携したイベント等も実施している。



部活動の発表の場

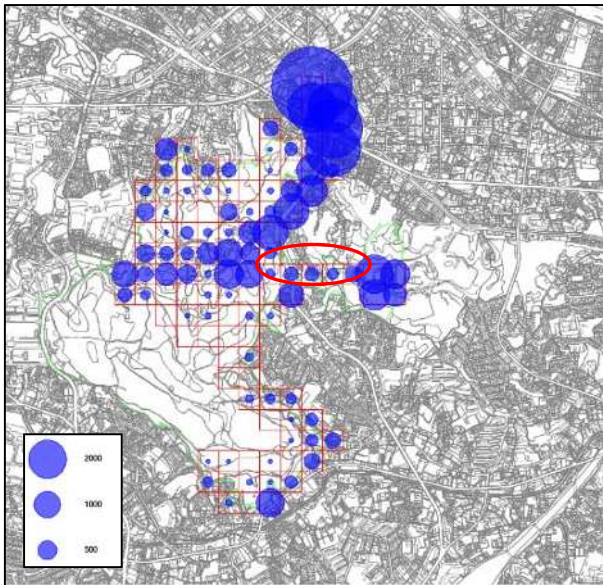


地域の音楽大学の同期のグループ

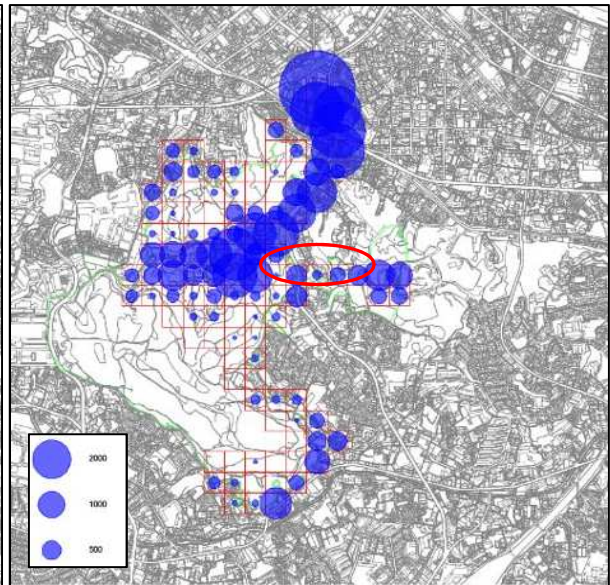


バレエの発表

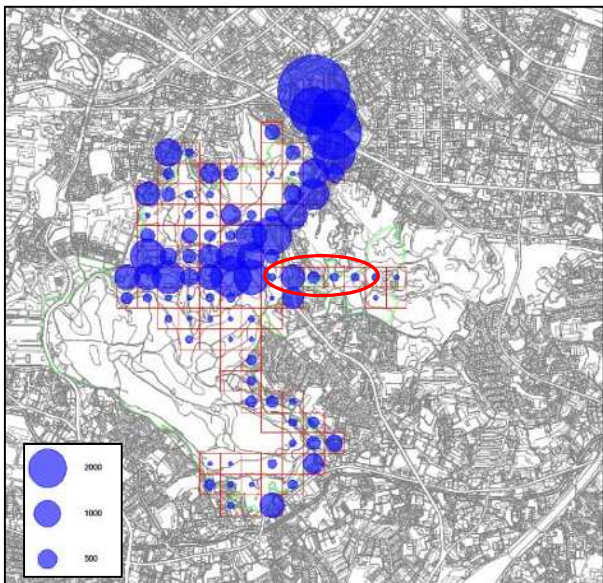
スマートフォン位置情報データよりばら苑及び中央地区の利用者分布を比較すると、③（ばら苑非公開日、中央地区イベント開催日）、④（ばら苑公開日、中央地区イベント非開催日）と比べ、①②（ばら苑公開日、中央地区イベント開催日）は、ばら苑と中央地区をつなぐ区間（各図中央付近）の分布が増加し、かつ連続していることから、ばら苑公開日に中央地区にて集客性の高いイベントが開催されるとき、利用者の回遊性が顕著に高まることが確認できる。



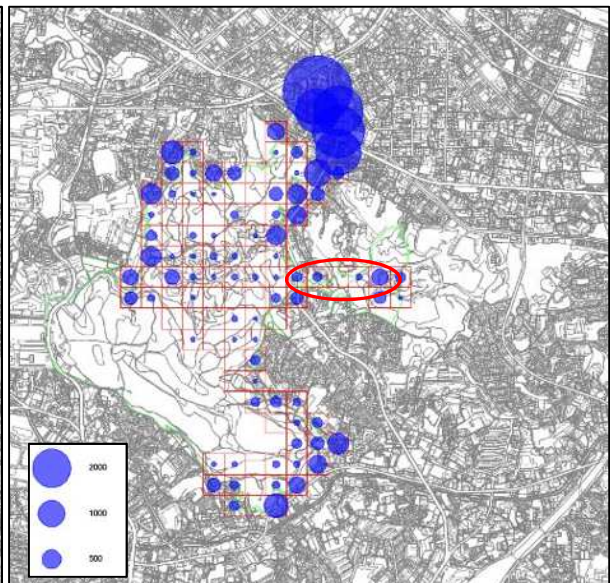
① 2022.10.23 (日) 秋期ばら苑公開日、中央地区イベント開催日



② 2022.11.3 (祝日) 秋期ばら苑公開日、中央地区イベント開催日



③ 2022.5.3 (祝日) ばら苑非公開日、中央地区イベント開催日



④ 2022.10.24 (月) 秋期ばら苑公開日、中央地区イベント非開催日

4 生田緑地ばら苑が直面する課題

生田緑地ばら苑は、開苑から65年経過し、ばらの感染症対策、施設の老朽化、魅力づくり等の課題に直面している。また、市民ボランティアとの協働により管理してきた取組の持続性の確保や本苑の位置する生田緑地東地区内の他の事業との調整等が必要となっている。

(1) ばらの感染症

古い希少種のリダローズや各国の要人にゆかりのあるバラなど多種多様なバラ(春800種3,300株,秋620種2900株)を有するが、多くのばらが根頭(こんとう)がんしゅ病※に感染しており、根本的な解決に向けて大規模なばらの植替えや土壌の入れ替えが必要となっている。

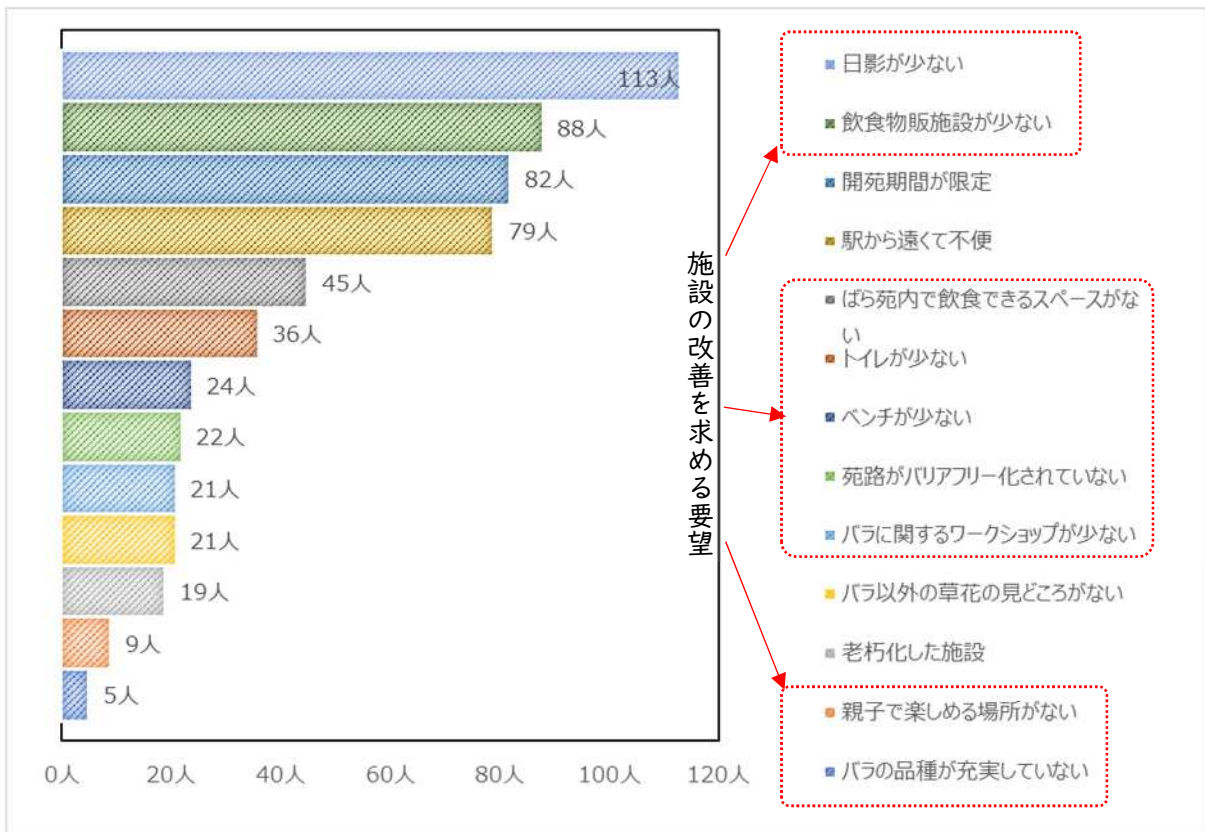


※ 根にコブが発生する病気で、防除方法は確立されていない。急速に枯れることはないが、患部が肥大すると樹勢が衰える。

(2) 施設の老朽化

本苑は開設から65年経過し、修景施設(水系施設は既に廃止)、園路、トイレ、レストハウスなど全ての施設が老朽化し、インクルーシブ施設としての取組への対応や多様なニーズに応えるためには、大規模な改修が必要となっている。

令和5年10月来苑者アンケート結果「生田緑地ばら苑の改善要望」



(3) 魅力づくり

「旧向ヶ丘ばら苑」は、東洋一のばら苑として開園・供用され、小田急向ヶ丘遊園閉園後は、市が引き継ぎ「生田緑地ばら苑」として維持管理しているが、バラの品種、株数の減少や維持管理水準の向上、老朽化等に伴う水系施設の廃止、限定されている開園期間、適切な管理体制の検討も含め、魅力づくりに向けた検討が必要となっている。

令和5年秋の開苑時の開花状況

○気候変動による変化

秋は春に比べ花数が少ない状況だが、特に今年は残暑が続いたため、開花状況に影響が見られ、開苑前日（10月18日時点）での開花状況は、苑内にちらほらと咲いている1分咲きに満たなく、閉苑日においても5分咲にとどまりました。

原因については、地球温暖化（沸騰化）により、秋の開花時期をコントロールすることが難しくなっていると考えられる。また、夏季に雨が少ない場合には十分な灌水等が必要なことも重要となっている。

○病害虫による被害

咲いた花についても、オオタバコガの大発生により花が傷んでしまったことも踏まえ、毎年様々な要因で発生する病害虫の被害に対応するため、発生状況を常にモニタリングし、適宜薬剤散布等を実施することが必要です。



花が鑑賞できない状態(開苑前日)



オオタバコガに喰われた花



○ばらの魅力トークイベント「秋のばら苑で逢いましょう」の開催

ばら苑のあり方を検討するにあたって、来園者、市民ボランティアを含めばら苑に係る知見を得るため、横浜イングリッシュガーデンのスーパー・バイザー河合伸志、ガーデン雑誌の編集を務める明田川奈穂美に登壇いただき、「秋のばら苑バラと庭を語る「秋のスペシャル講座」」を開催しました。

当日は、秋とは思えない暖かさの中、立ち見も含めて約100の方が、登壇者2人のばら、庭園への想いや知見に魅了されました。また、質疑応答では、来年度に迫った全国都市緑化かわさきフェアに向け、今年の開花状況を踏まえ、ボランティアから切実な質問を数多くいただき、ご助言をいただきました。



左 明田川氏、右 河合氏



満員の会場



募集案内チラシ

(4) 協働の取組の持続性の確保

小田急電鉄株式会社から市が引継ぎ、市民ボランティアの協力を得ながら維持管理運営している。ばらの育成に係ることのできることから、生田緑地ばら苑ボランティアは新規の会員も増えているが、高齢化等により退会者もいることから、横ばい傾向であり、社会全体の高齢化の進行に伴い担い手不足といった課題に直面することが危惧される。

(5) アクセス路の確保

生田緑地ばら苑への主動線は、旧向ヶ丘遊園跡地(小田急電鉄株式会社の協力)に依存しており、跡地利用計画との調整・整合が必要。また、現状は、アクセス路の安全確保や送迎等の費用が当苑の管理委託費の約1/3を占めている。



川崎府中線入口部の車両待機場所

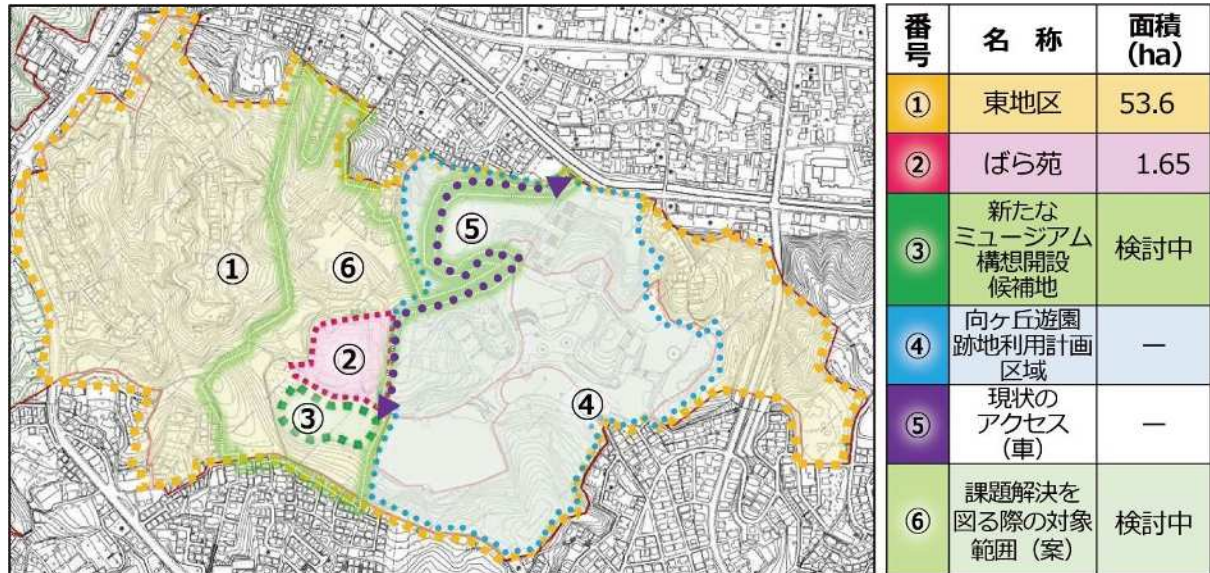


ばら苑までの通路(片側交互通行)

(6) 生田緑地東地区内の他の事業との調整

生田緑地東地区内において、検討が進んでいる新たなミュージアム構想、向ヶ丘遊園跡地利用計画といった他の事業との調整が必要であり、特に新たなミュージアムの開設候補地を正式な開設地に決定するために小田急電鉄株式会社と覚書を締結したことから、これらの動きも踏まえ、ばら苑周辺区域も含め再整備のあり方を検討する必要がある。

生田緑地東地区計画区分図



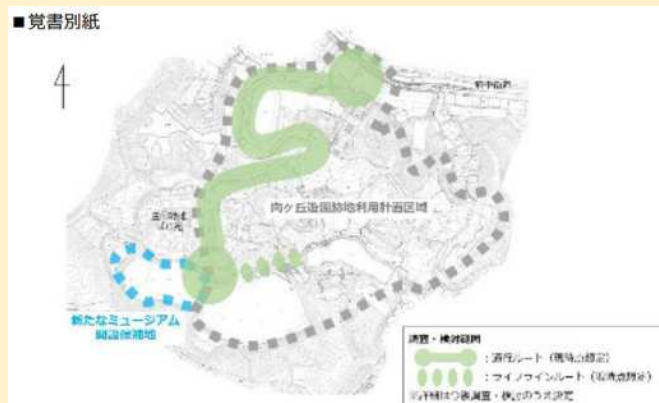
「新たなミュージアムの開設候補地に係る協議に関する覚書」の締結について

本市が「新たなミュージアムに関する基本構想」で開設候補地として選定した「生田緑地ばら苑隣接区域」は小田急電鉄株式会社の向ヶ丘遊園跡地利用計画の区域と隣接している。

「生田緑地ばら苑隣接区域」を正式な開設地として決定するために必要な工程である新たなミュージアムの通行ルート等に係る調査・検討について、相互に関連・影響する事項として双方が協力して進めることを目的とした覚書を令和5(2013)年8月15日に締結した。

(1) 覚書の概要

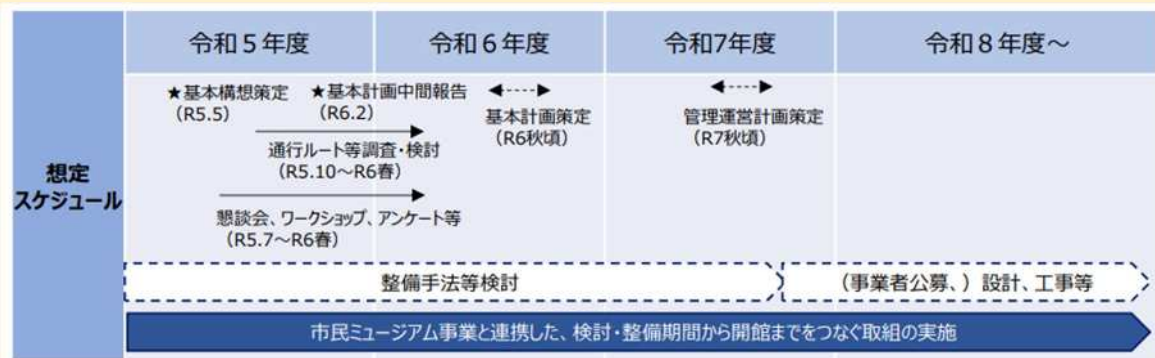
本市及び小田急電鉄は、覚書別紙で定める位置及び範囲を基本とし、通行ルート、ライフラインの設備(給排水、電気、ガス等)、交通対策等について、調査・検討を行う。調査・検討にあたっては、基本構想及び向ヶ丘遊園跡地利用計画の相乗効果により、登戸・向ヶ丘遊園エリアにおいて、個別では創出できない価値や魅力の向上、賑わいの創出、効率化等、市民や地域にとってよりよいものとなるよう努めるものとする



(2) 今後の予定

新たなミュージアムの通行ルート等に係る調査・検討の実施は、向ヶ丘遊園跡地利用計画との整合性を図るため、迅速に対応する必要があることから、必要な経費について補正予算による措置を目指し、令和5（2023）年第4回市議会定例会にて当該議案を提出予定。議決後、覚書に基づく調査・検討に必要な作業を小田急電鉄に委託し、通行ルート等の調査・検討を進めていく（令和6（2024）年春頃を目途に、考えうる最適な通行ルート案を決定予定）。

今後、関連計画である「生田緑地ビジョン」の改定や「ばら苑管理運営整備方針」の策定スケジュールとの整合性、及び市民への丁寧な検討状況の説明・共有を行う観点から、令和6（2024）年2月頃を目途に基本計画の中間報告を行う。基本計画については、総合計画第3期実施計画期間中（令和7（2025）年度まで）での策定を予定しており、令和6（2024）年秋頃の策定を目途に取組を進めていく。



5 生田緑地ばら苑のあり方

本検討は、ばら苑が有する資源・魅力の向上と直面する課題解決に向けて、「継承すべき・したいばら苑」の資源を整理し、今後のばら苑が目指すべき方向性を共有することを目的とする。また、あるべきばら苑の実現に向けて、生田緑地東地区内における連携・融合に向けた論点を整理することを目的とする。

(1)「継承すべき・したい資源」

継承すべきばら苑の資源を「ばら」「庭園」「協働」とする。

ア ばら「歴史を重ねたバラのコレクション」

苑内には、古の銘花から最新品種まで、作出年代に偏りなく、800品種、約3,200株のばらを育成・管理している。

(モダンローズ(ハイブリッドティー(HT) 340種、フロリバンダ(FL) 137種、シュラブ(S) 85種、クライミング系(CL) 90種、グランディフローラ(Gr) 10種、ミニチュア(Min) 32種、ポリアンサ(Pol) 2種)、オールドローズ 80種、野生種 13種等)



有識者へのヒアリング

【植物分類学】

- ・ 生田緑地ばら苑のバラは関東圏のばら園では珍しく、関西地方で育成されたバラが保存されており、研究の際に重宝した。
- ・ 古いばら園でも保全していない品種が残っており、病害虫から守りながら、時には接ぎ木をしながら守ってきた証拠だと思われる。
- ・ ばら苑を再整備する際には、貴重な品種は接ぎ木をしながら保全し、継承すると良い。
- ・ 新しい品種だけで整備すると他のばら苑と同じになってしまうので、特色を残す視点が大事。

【育種・植栽プランナー】

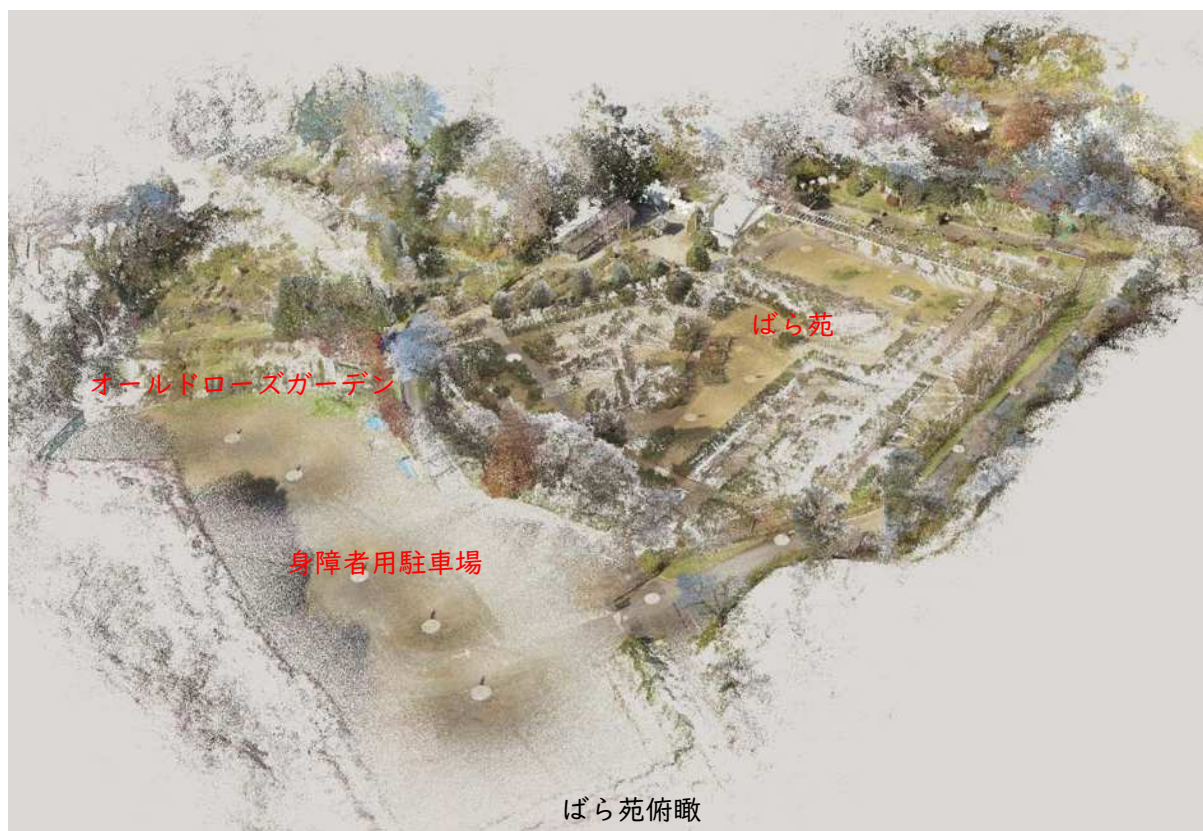
- ・ 改植がされなかったことで、今では見るのが少ない「希少な古い品種」が多く残っており、資産とも見える一方で、古株が多く、樹勢が弱くなっているのも事実。
- ・ バラ文化や園芸に造詣の深い人達や専門家から見ると価値あるコレクションだが、残念ながら一般人にはその価値は分かりにくい（活用の際にはわかりやすい演出が必要）。
- ・ 一部の株は、カミキリムシの被害で株元に穴が開いた状態になっていて、かろうじて命を長らえている。

生田緑地ばら苑が保有する戦前に作出されたハイブリッド・ティー系品種コレクションの例



イ 庭園「市民に親しまれ、愛された作庭のコンセプト」

緑に囲まれた丘陵地内において、大パーゴラやクラブハウスなどの人工美を加えた「造苑美のばら苑」として親しまれてきました。そのコンセプトを保存するため、今回は、3次元点群測量により調査・保存しました。今後、新たなばら苑の計画に向けて整備イメージの共有等に活用してまいります。



ウ 協働「市民に愛されるばら苑」

小田急向ヶ丘ばら苑として人々に愛されたばら苑は、存続の危機を乗り越え、現在は、生田緑地ばら苑として、ばらを愛する市民との協働により維持管理している。ボランティアの作業内容については、当初、ばら周辺の草むしり等に限られていたが、現在は、ばらの剪定から花がらつまみ等ばらに係る管理も担っている。また、来園者向けのガイドツアーの実施や他のばら苑視察等も熱心に行われ、ボランティアとの協働によるばら苑として全国的にも知られている。また、新型コロナウイルス感染症により、令和2年春の開苑は見送りしたが、現在は、来苑者数も45日間で年間7万人まで回復し、多くの市民に愛されるばら苑となっている。



(2)あり方において考慮すべき事項

本検討にあたり実施したばら苑ボランティア(☆)や来苑者へのアンケート調査(・)、有識者等(●)を踏まえ、今後の検討において対応すべき取組について整理した。

ア バラ

| | 主な意見 | 課題 | 今後の取組 |
|------|--|---|--|
| 品種 | <p>・バラの種類が豊富なところがよい。</p> <p>・バラの説明が豊富だとよい。</p> <p>●戦前に作出された品種が数多く残されている。これからの育種に親品種として役立てることもできるため、大切に保存してほしい。※</p> <p>●再整備にあたって貴重品種の保存・継承が課題。※</p> <p>●バラ品種がどこに植えられているのか探しにくい。世界バラ会連合の優秀庭園賞の条件に、品種ラベルが整っていることがある。QRコードで詳細情報にアクセスできるようにしてもよい※</p> <p>☆日本の気候に合った品種を増やして欲しい。</p> <p>☆原種、オールドローズは特に大事に保存。</p> <p>☆オールドローズ、イングリッシュ・ローズなどボランティアが関わるようになって充実したところも大切にしていきたい。</p> <p>☆消毒しなければいけないエリアを限定的にして、古い品種を継続。多くのエリアは無農薬または減農薬が可能な現代のバラ品種に。</p> | <p>・多くのばらが根頭(こんとう)がんしゅ病に感染しており、根本的な解決に向けて<u>大規模なバラの植替えが必要</u>。</p> <p>・植え替えにあたり、<u>品種の取捨選択を検討</u>する必要がある。</p> <p>・<u>貴重品種の保存・継承方法を検討</u>する必要がある。</p> <p>・生田緑地ばら苑には、関東の他のばら園では見られない品種があることから、<u>貴重なバラを持続的に残すための仕組み</u>が必要。</p> <p>・来園者が<u>分かりやすく品種を確認できる仕組みを構築</u>する必要がある。</p> | <p>・品種数や残すべきバラの整理 【視点①④】</p> <p>・貴重品種の保存・継承方法の検討 【視点①④】</p> <p>・品種ラベルの見直し 【視点⑤】</p> |
| 土壌改良 | <p>●再整備にあたっては、まず<u>土を替える必要</u>がある。※</p> | <p>・大規模な土壌の入れ替えのため、<u>開苑できない期間が生じる</u>。</p> <p>・土壌入れ替えにより、バラ苗の<u>仮置場の確保</u>が必要(仮置きに伴い、<u>苗の移動が複数回生じる</u>)。</p> | <p>・土壌改良を実施。</p> <p>※小田急電鉄株式会社の開発工事に伴い閉苑期間(約2～3年)が生じるため、<u>苑内もしくは苑外(場所未定)で閉鎖管理を予定</u>(経費削減のため貴重品種のみを予定)。</p> <p>※そのほかの品種については、配布や市内の公園に植えるなどを検討。</p> |

イ 施設

| | 主な意見 | 課題 | 今後の取組 |
|-----|--|--|---|
| 老朽化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 苑内施設の改装。 ・ トイレの部屋サイズがギリギリで服を汚す。 ☆老朽化している造形物の入れ替え、それぞれのコーナーでそこにあるバラの姿を活かせる新たな造形物の新設。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ばら苑は小田急が整備してから 65 年が経過していることから、すべての施設で老朽化しており再整備が必要。 ・ ローズガーデンハウスは老朽化が著しいことから、建て替えに伴い開苑できない期間が生じる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した施設の改修【視点①②③④⑤⑥⑦⑧】 ※小田急の開発工事に伴い閉苑期間（約 2～3 年）が生じるため、再整備については、閉苑期間で対応可能。 |
| 規模 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊園の再開発とともにさらに広げてほしい。 ・ もっと広くして、遊ぶ場所、飲食スペースとかバラの数を増やしたほうがいい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ローズガーデンハウスや、トイレ、温室等の再整備にあたって、施設規模によっては既存エリア内での整備では、施設規模に制限が生じる可能性 ・ 民活導入において、稼げるばら苑を検討する必要があり、講座を行うスペースの拡充や売店等の整備が求められ、施設規模が大きくなる可能性がある | <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な施設規模で整備するため、隣接の駐車場エリアも含め検討を行う【視点④⑥⑧】 ・ 採算性に見合う施設の規模感は PPP プラットフォームでヒアリング【視点④⑥⑧】 |
| 修景 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の延長線上で、発展させる方向が良い。 ・ 小さい花やグリーンなどとの寄せ植えがあると、バラの魅力が増すような気がする。 ☆パーゴラのバラはもう少し低いところまで咲かせる。 ☆バラと相性のいい植物等有れば良いのでは。 ☆花壇の仕切りを工夫して、来園客が一步バラに近づける部分を作る。 ☆もう一度ばら苑とはどういうものか考える。 ☆ローズガーデンハウスを、イギリスの一軒家風にして、外壁にバラが咲き乱れるような。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 修景を監修できる、デザイナーが必要。 ・ ばら以外の草花の混植を検討。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ばら苑をデザインできるガーデナーの配置の検討【視点①②】 |

| | | | |
|--------------------|---|---|--|
| <p>休憩・くつろぎスペース</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・芝生がいい。 ・日影が少ない。 ・休憩できるスペースが欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・再編整備にあたって、ばら苑全体のランドスケープの検討が必要。 ・周辺で計画している他事業との調和したデザインの検討が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ばら苑をデザインできるガーデナーの配置の検討 【視点②④⑥⑧】 ・隣接の駐車場エリアも含めた一体的に検討 【視点②④⑥⑧】 |
| <p>子供が楽しめるスペース</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・子供が<u>遊べるところがある</u>とよい。 ・子供と<u>ゆっくりすごせるスペース</u> ・子供が0～1歳の時、芝生で遊べたのありがたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供が楽しめる場所を確保するにあたり、<u>既存エリア内での整備では、制限が生じる</u>可能性。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切な施設規模で整備するため、隣接の駐車場エリアも含め検討を行う 【視点②③④⑤⑥⑦】 |
| <p>飲食・物販</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・飲食物販施設が少ない。 ・飲食ができる場所を充実してほしい。 ・バラを使った（映える）飲み物や食べ物があるとよい。 ・フードメニューの出店があるとよい。 ☆ローズのハーブティーや、バラのアイス系の何か目玉になるものをもって来る。 ☆バラグッズの販売。 | <ul style="list-style-type: none"> ・民活導入において、稼げるばら苑にする必要があり、<u>講座を行うスペースの拡充や売店等の施設規模の把握</u>が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・採算性に見合う施設の規模感は <u>PPPプラットフォームでヒアリング</u> 【視点①②④】 |
| <p>駐車場</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アクセスが不便なため、自家用車での来苑が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化局及び小田急電鉄が、新たなミュージアムの<u>通行ルート等に係る調査・検討の実施を予定</u>しており、その<u>動向を注視</u>していく。 【視点④⑤⑥】 |
| <p>バリアフリー化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・車いすやベビーカーでも見やすいようにしてほしい。 ・階段がきつい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・もみじ谷からばら苑への動線のバリアフリー化のためにEVを設置すると、<u>森林伐採など大規模な整備</u>が伴う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・高低差が少ない隣接の駐車場エリアを含めた検討を行う [再掲] 【視点④⑤⑥】 |

ウ 管理・運営

| | 主な意見 | 課題 | 今後の取組 |
|---------|---|---|--|
| 開苑期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 通年開放。 ・ 開苑期間を延ばしてほしい。 ・ 開苑時期をバラの開花状況に応じた変更対応をしてほしい。 ・ 開苑時間を早く（日の出）してほしい。 <p>●通年開苑はしなくていいのでは。開花期のみの開園は瞬間芸でよいため、来園者の期待を裏切らない※</p> <p>☆開苑日をバラの開花に合わせて頂ければ最高です。</p> <p>☆春秋たったの3週間程の開園期間では勿体無い。</p> <p>☆通年ばら苑開苑で、バラの見頃を見てもらえるようにしたい。</p> <p>☆バラ開花時期以外の一般開放は 人の目が行き届かない事も有り、防犯上さげたい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 開苑期間の延長は、小田急の管理地を使用するため、新たに<u>誘導等にかかる費用が増加。</u> ・ ボランティアによる<u>作業量が増加。</u> ・ バラが<u>咲いていない期間の魅力向上</u>に向けた検討が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民文化局及び小田急電鉄が、新たなミュージアムの<u>通行ルート等に係る調査・検討の実施を予定</u>しており、<u>その動向を注視</u>していく [再掲] 【視点④⑤⑥】 ・ ボランティアの<u>作業範囲や内容について検討</u> 【視点④】 ・ <u>宿根草等の活用も含め、バラ以外の魅力も検討</u> 【視点④⑤⑥】 |
| 入苑料 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 入苑料が無料なところがいい。 ・ ばら苑の継続、維持、充実のためであれば入苑料を有料にするのもあり。 ・ 安価での有料化。 <p>☆有料化して入り口での人の出入りが管理できると良い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>料金形態の見直し検討</u>（金額設定・変動制や割引の有無 等）。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 料金形態は PPP プラットフォームでヒアリング 【視点④】 |
| イベント・講座 | <ul style="list-style-type: none"> ・ バラに係るイベントの実施。 ・ 地域の憩いの場としてのイベント実施。 ・ 近くの大学の農学部 of 学生たちに通年の実習とかで講座、単位等を与えても良いのでは。 ・ 子供用のボランティアがあったらいい。 <p>☆<u>タイムリーな講習の実施</u>によるボランティアのスキル向上。</p> <p>☆バラを育てる事から逸れた目的の為の剪定をする事もおこるので<u>アレンジメント講習会などは決してやっては行けない。</u></p> <p>☆バラを使う他のイベントなどは<u>栽培講習会、バラ苑での音楽会など以外はなくていい。</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 民活導入において、稼げるばら苑にする必要があり、<u>講座を行うスペースの拡充や売店等の施設規模の把握</u>が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 採算性に見合う施設の規模感は <u>PPP プラットフォームでヒアリング</u> 【視点①②③④】 |

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">広報・PR</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・もっとPRしたほうが良い。 ・動画配信。 ・咲いているバラの情報などがSNSで見れるとよい。 ・イベント告知の徹底。 ●イベントとフォトスポットが人を集める※ ●緑化フェアにあわせて、当苑の歴史を伝える展示や映像をつくるとよいのでは※ ☆新ミュージアム建屋の正面に大規模なバラの整形庭園を設け、圧倒的な花量で「映え」を演出。 ☆上階のミュージアムカフェを最高の展望所。 ☆市バス東急バス、フジコミュージアムなどにばら苑の最寄り駅のアナウンスやポスター掲示。 | <ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNSによる<u>柔軟な広報の実施</u>に向けた検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・PPPプラットフォームでヒアリング 【視点④⑤⑥⑦⑧】 |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">運営</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディング等の資金調達の検討。 ●<u>将来のお金の組み立てを検討すべき</u>。管理費にいくら必要か、また園内でどう稼ぐのかを、かみ合わせることが大事※ ☆牛糞を分けて下さる酪農家の方から、牛乳を買って、それでジェラードなりアイスを作って、得た利益を酪農家の方に還元。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状の委託による運営体制の見直し | <ul style="list-style-type: none"> ・民活導入の検討に向けてPPPプラットフォームでヒアリング 【視点①②③④⑤⑥⑦⑧】 |

| | | | |
|-----------|--|--|--|
| <p>管理</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・大変なご尽力をいただいているボランティアに感謝。 ・もっと手入れをしてほしい。 ・管理は専門業者に委託すればよい。 ●管理のしやすさに配慮した設計。※ ●各所に設置した散水栓と催事用コンセントは重宝。※ ●確かな技術を持った管理の担い手を見つけることが課題。※ ☆切り花の持ち帰りは禁止。 ☆苑の魅力はボランティアがバラの育成に大きく貢献している事。”素人でもここまで出来る”というベンチマークになる。 ☆文化という視点でバラ育成を考えると、プロの庭師が手がけたバラは見事であるものの、それは他の日本全国のバラ園と何ら違いはない。一般市民が主体的に育成を行うからこそ文化。他の地域と違いを出せる。 ☆継承すべき点はボランティアと一緒にバラを育てていくという事。 ☆整形庭園は指定管理者の指揮のもとで、プロとボランティアが共に維持管理を行うが、これとは別にボランティアが主体となって企画運営できるボランティアガーデンを設け、従来同様のオールドローズや、こだわりの珍品種、川崎ゆかりの品種、その他様々な草花が彩る。 ☆散水装置の設置は必要。 ☆生育不良の株の速やかな入れ替えもしてほしい。 ☆日替わり講師で、内容にバラツキがあり、できれば一人のベテラン講師に絞るのが望ましい。 ☆バラを枯らした数が多すぎる。ボランティアが中心になりすぎる。草が大量今までにないこと。職員が指導すべきと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理に向けた管理体制の見直しの検討。 | <ul style="list-style-type: none"> ・バラの管理に精通したアドバイザーの配置等も含めた検討 【視点①②③④⑤⑥⑦⑧】 |
|-----------|--|--|--|

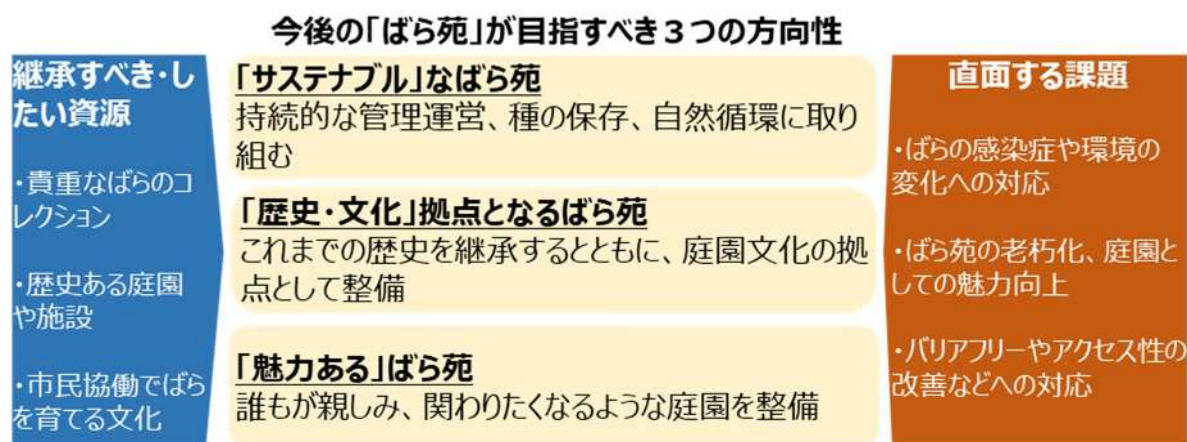
エ その他

| | 主な意見 | 課題 | 今後の取組 |
|-------|--|--|--|
| アクセス | <ul style="list-style-type: none"> ・有料でもよいのでシャトルバスの増便・利用範囲拡大を希望。 ・駅からシャトルバスがあるといい ・上り坂がきついので、バスがあると便利。 ・来苑のしやすさ、駐車場、公共交通機関の連携など。 <p>☆府中街道の駐車場からマイクロバスを走らせてほしい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・バラ苑までのアクセスは小田急管理地を使用するため、<u>小田急との調整</u>が必要。 ・小田急の<u>道路工事に伴い開苑できない期間が生じる。</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化局及び小田急電鉄が、新たなミュージアムの通行ルート等に係る調査・検討の実施を予定しており、その動向を注視していく。[再掲] ・小田急の開発工事に伴い閉苑期間（約2～3年）が生じるため、<u>苑内もしくは苑外（場所未定）で閉鎖管理を行う予定</u>（経費削減のため貴重品種のみを予定）[再掲] <p>※そのほかの品種については、配布や市内の公園に植えるなどを検討</p> |
| 景観の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・緑に囲まれているのが良い。 <p>☆天空のばら苑、秘密の花園とも呼ばれる人工物が目に入らない環境が続きますように。</p> <p>☆新たなミュージアムの建屋の壁面にはフェンス仕立てのつるバラを多数配置し、春はミュージアムそのものがバラに包まれる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・緑に囲まれたばら苑づくり。 ・ばら苑を俯瞰できる場づくり。 | <ul style="list-style-type: none"> ・景観の確保にあたっては、新たなミュージアムがばら苑隣接区域が開設候補地となっていることから、あらゆる可能性を排除せず、<u>隣接の駐車場エリアも含めた一体的に検討</u>を行う |

| | | | |
|-----------------|---|---|---|
| <p>他事業の連携融合</p> | <p>・<u>小田急所有の土地を含めて、地域合体の環境整備</u></p> <p>・ばら苑の周囲を活かして、もっと楽しく過ごせる場所になるとよい。</p> <p>☆「ばら苑とミュージアムを完全に一体化して運営すべき」。</p> <p>☆<u>市民ミュージアムとばら苑を一体のものと考えて、ミュージアムからばら苑へと、庭園のように人の流れをつくってゆくとよいのでは。</u></p> <p>☆休館日に、結婚式や金婚式など、人生でのイベント、セレモニーのときに、ミュージアムを活用してもよいのでは？と思う。ホールをお式に使えるようにして、レストランでの食事や、式のあとにばら苑へと写真撮影に移動してもらうなど。人生の記念のお式にばら苑でお花に囲まれたら素敵。</p> <p>☆レストランをつくるのなら、屋根つきバルコニー席も設けて、室内外でばら苑付近の景色や、自然を楽しめるとよい。</p> | <p>・ミュージアムが隣接地に開設する場合、<u>新たなミュージアムは景観に配慮した施設にする必要がある。</u></p> <p>・民活の検討にあたり、<u>新たなミュージアムと一体的な管理運営の可能性を検討。</u></p> <p>・課題解決には、<u>一体的な整備も検討</u>する必要がある。</p> | <p>・景観の確保や民活の検討にあたっては、あらゆる可能性を排除せず、<u>隣接の駐車場エリアも含めた一体的に検討</u>を行う</p> <p>・一体的な管理運営について <u>PPP プラットフォームでヒアリング</u></p> |
| <p>その他</p> | <p>☆65年間のレガシーを断絶させないためには、移行期にはボランティアの手によって現ばら苑の株（権利フリーの品種）を挿し木・接ぎ木により増殖させ、生まれ変わった新株を新ばら苑に定植するようにするのはいかがか。</p> <p>☆約60年の歴史のあるばら苑と、アクセスロードとを一体にして、自然やバラの美しさを楽しめる癒しの空間として保持していただきたい。</p> | | |

(3) 新たなばら苑の方向性

本検討にあたり実施したばら苑ボランティアや来苑者へのアンケート調査、専門家へのヒアリング等を踏まえ、新たなばら苑の方向性の関係を改めて整理した。



「魅力が溢れ、誰もが好きになる」ばら苑の実現

(4) スケジュール(調整中)

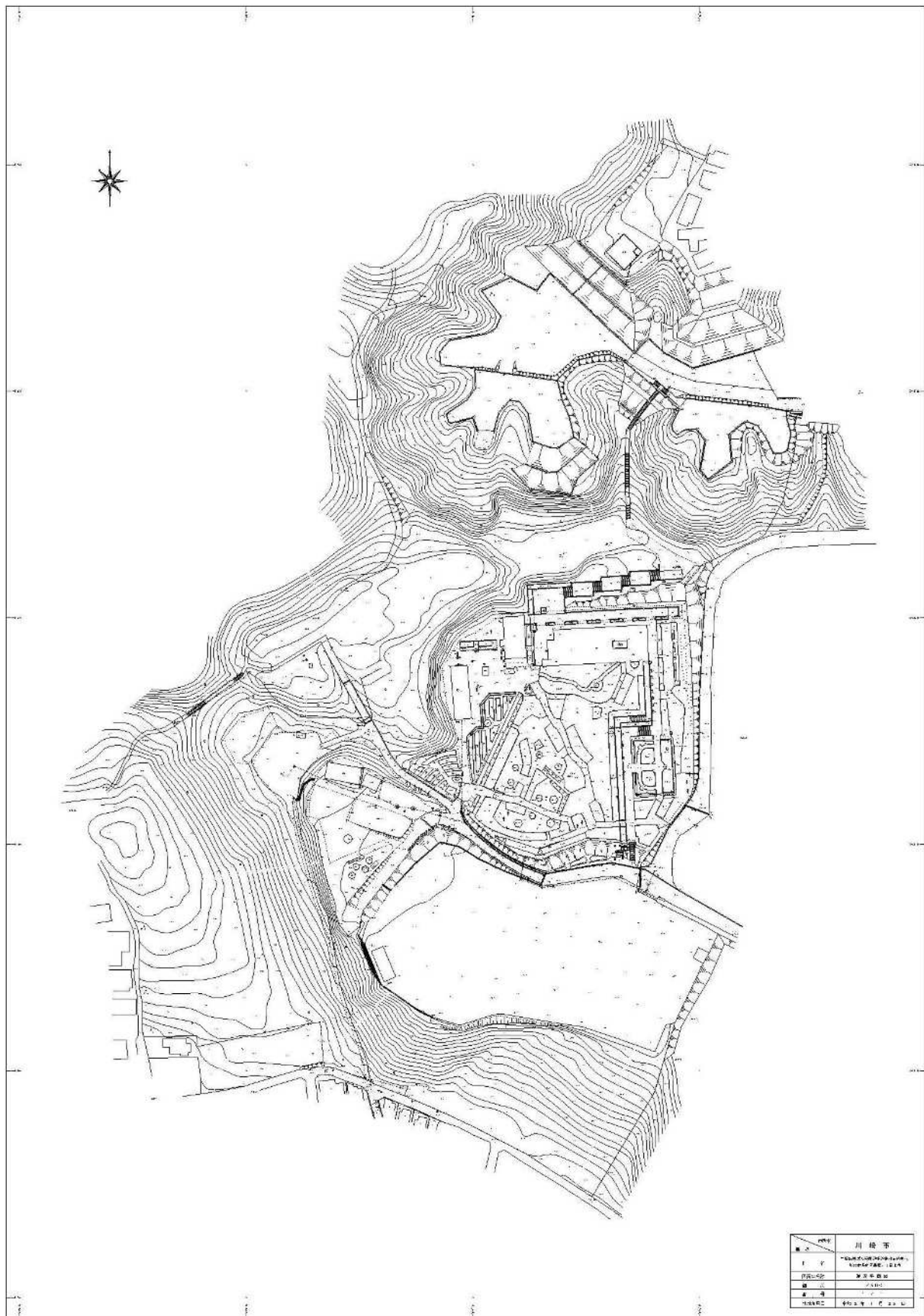
本検討を踏まえ、今後、各計画との調整を進めながら次のとおり取組を進めてまいります。
 なお、本ばら苑のあり方検討に基づく取組については、今回改定する「生田緑地ビジョン」に基づき短中期に行う取組として、次期総合計画の策定に合わせて「生田緑地ビジョンアクションプラン」として取りまとめていくことを想定しています。

| | ～令和5(2023)年度 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 | 令和8(2026)年度～ |
|-------------|---|--------------------------------------|---|---|
| 生田緑地ビジョン | 生田緑地ビジョン改定に着手 生田緑地ビジョン改定に向けた基本的な考え方 オープンハウス型説明会 | 生田緑地ビジョン改定案 パブコメ等 生田緑地ビジョン改定予定 | ・緊急性の高い取組の実施 ・将来像達成に向けた体制の検討・調整等 ・関連計画との調整等 | ・短・中期の取組に着手 ・次期総合計画【計画期間R8～】の策定に合わせた取組内容の精査、見直し、拡充 |
| 生田緑地ばら苑 | | 生田緑地ばら苑のあり方(案) 事業者ヒアリング | 生田緑地ばら苑のあり方 事業者ヒアリング ・与条件整理(整備規模・関連計画等) ・整備手法 ・維持管理運営手法 | 生田緑地ばら苑管理運営整備方針策定予定 管理運営整備方針に基づく取組の推進 |
| 新たなミューシウム構想 | ★基本構想策定 ★基本計画中間報告 | ★基本計画策定(R6秋頃) | ★管理運営計画策定(R7秋頃) | |
| 整備手法等検討 | | | (事業者公募、)設計、工事等 | |

参考資料

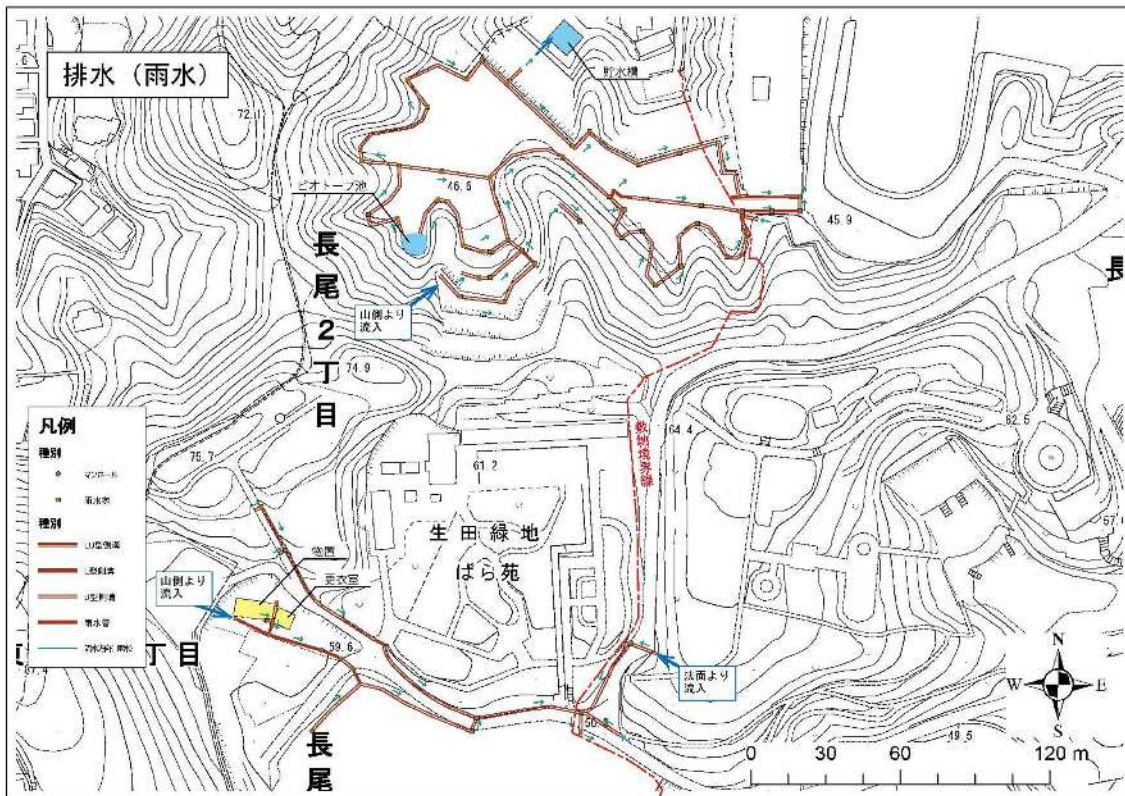
(1) 生田緑地ばら苑基礎資料

ア 現況平面図

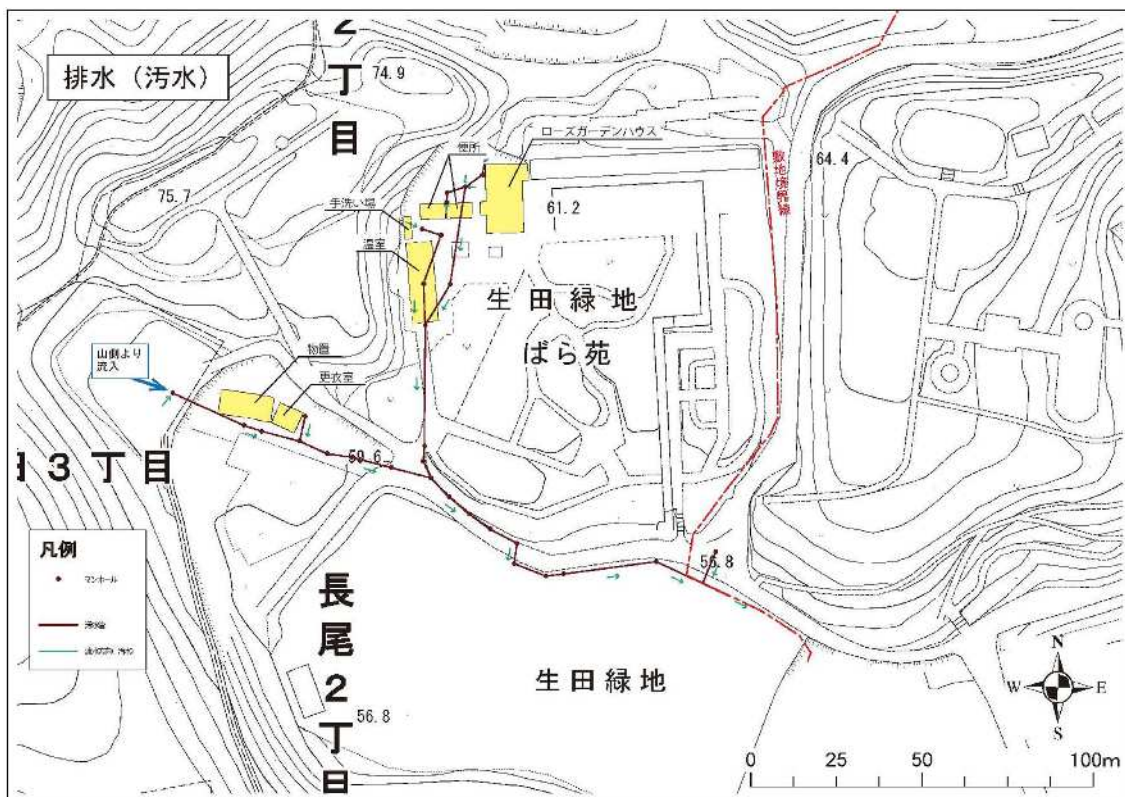


(2) インフラ平面図

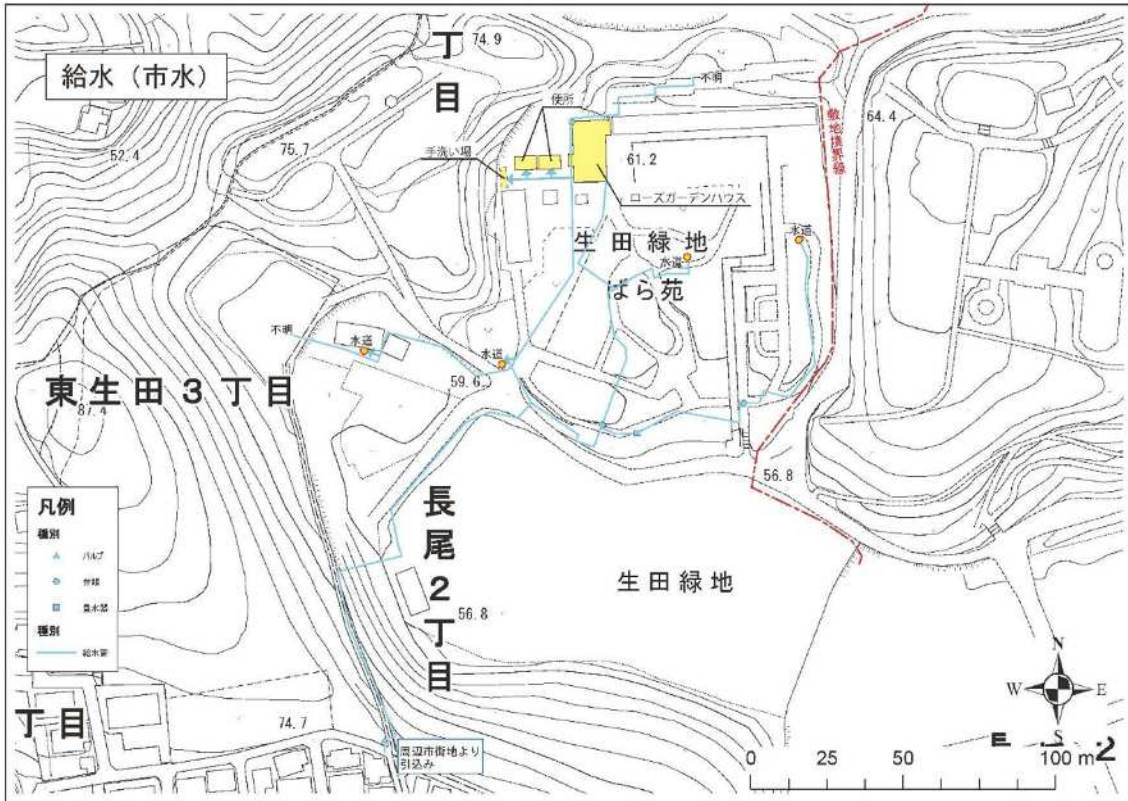
ア 排水(雨水)



イ 排水(汚水)



ウ 給水(市水)



エ 電気



オ 通信

